成人映画
No. 10

成人映画・目次

通巻第10号

■グラビア

■読みもの特別企画

■三大読みもの

●表紙／美矢かほる
およそ女優らしくない素直さと、純粋さは珍らしいくらい。大器晩成型で、こせこせしないところは貴重だ ＯＰチェーン系の作品によく出演しボリュームとセクシーさがいい20才。

●ピン・アップ／谷口朱里
最近「裏切りの季節」に主演。ハダカの美しさをスクリーン一ぱいに発散させた。１カ月１本の割りで仕事をしている売れっ子。前向きに意欲的に演技に取り組んでいる。24才。

♥谷口朱里

成人映画・NO10・ピンアップ

女優
美矢かほる

女優

美矢かほる

本誌特写

目千両という言葉があるが美矢くんは誠にこれがピッタリする程艶っぽい目である。昨年「痴情の密漁」でデビューしいままで14本の作品を消化。スターダムに着々とのし上って来た。去年の暮に根性不足を強くなじったことがあったが、彼女の素直さや「女優の名におぼれず、吹替えは絶対にいけない」との忠告を守り上手とはいえないにしても懸命な努力を続けている。
大蔵映画のペット的存在だったた彼女は41年に飛び出し温床から荊の道に変ったが、ファッションモデル出身だけに容姿は抜群。性格はまったく素直でこれはまた彼女にとってマイナスかも知れない。まだ出演本数も少ない彼女が自分の意志で物が云えない事もあるだ

ろうし演技の面でもキレの悪い芝居がまだ多いが、彼女を生かす監督と脚本がほしいものである。それに加えてお世辞にも美しいとはいえない声を一〇〇%生かして見たいものである。
「死ぬ程の恋がしてみたい」という彼女も夢多き20才である。
一作で消えてしまう女優が多い昨今、彼女の進む道はきびしいだろうが「タンマ」の愛称で呼ばれる「美矢かほる」の美しい素直な姿を誰れかに生かしてもらいたいものである。
（一戸英夫）

セクシーな魅力

「白昼の通り魔」の
小山明子と川口小枝

川口小枝

小山明子

大島渚監督の「白昼の通り魔」（創造社製作・松竹配給）はこの夏、最大の「成人映画」として話題になりそうだ。

ショッキングな犯罪とエロティシズムの中で人間に潜む悪魔的なものと、不思議な生命力と逞しさはどこから生まれるかを描こうというもの。

注目の新人川口小枝の演技力、セリフ、根性、脱ぎっぷりは大島監督をして〝天才的新人〟といわせた。そして小山明子のセクシーな女の魅力もあらためて再認識されるだろう。

★ロケ・ルポ特集★

暑さを吹っ飛ばすセクシー演技

（三社の現地報告）

「不純な快楽」（明光セレクト）

あまりにも性に無知であったがために、女としての性の悲劇が展開する——というのが明光セレクト製作の「不純な快楽」（監督中野弘也）。その製作意図によると、「無知は悪徳である。ある農村を舞台に、土に生きようとする女の悲劇を異色あるタッチで描く……」というのが狙いなそうだ。

この映画の主人公マキ（香取環）はふとしたあやまちがもとで、性病にかかり恐怖のドン底につきおとされる。

さらに義妹の杏子（泉ユリ）も恋人との性行為でおんなの歓びを知ったが、姙娠してしまい、やがて帝王切開をうけた。もうひとりの未亡人加代（桂京子）は情事を楽しむ男好きの女、男を楽しませ、情を尽しても、あげくの果ては男に捨てられてしまう。

この女の性の犠牲の中で、男性たちはきょうもなにごともなかったように生きてゆく……性の無知、それは女にも男にもいえることである。

悪徳と悲劇の二現象をリアルなタッチで描写し、医学的な表現描写で〃性〃の問題をみつめようという意欲作でもある。

こんどの作品では男女の生殖器の解説を加え、避妊法などの描写を加えながら、性医学の面でも参考になるような異色の作品を狙ってる。

中野監督は「これまでのピンク映画から脱出して、新しい方向の〃性〃の問題をとらえないとウソです。単なるベッドシーンや入浴シーンを見せばにするよりも性を正しく理解して、血肉にするべきではないかと思う。この映画を作りながらボクらも勉強した

い、こんなあり方で撮影しています」という。
最近、相模湖畔地帯で十余日間のオールロケ撮影を行なった。公民館で農村の主婦たちに保健婦が避妊法や性教育などを8ミリで解説するシーンがある。現地ロケなので、実際に土地の主婦を集めて行なったが、村内こぞって協力出演し、いかにも実感あふれるシーンが撮影できた。「こんなエキストラならいつでもいいですよ。またきて下さい」と大よろこびされたというから田舎は現金である。いや農村のおかみさんたちはあの方が好きだということになる。主演の香取は夫を愛しながらも過去の性病にさいなまれ、苦悶する過程をピンク映画女優NO1の演技派らしいデリケートな役どころを見事にこなし、実力のほどをみせた。〃性の悲劇〃を真っ向から真面目に扱った点、今後の成人映画に新しい方向を示すだろう。

「乱気流の悶え」（武田プロ）

若手のハッスル監督は若松孝二監督だけと思っていたらもう一人、物凄くバイタリティのある人がいた。武田有生監督である。ちょうど「**乱気流の悶え**」（製作武田プロ・配給大蔵映画）が板橋の某氏の邸宅で撮影中というので、ルポしてみた。

フロ場といっても、まるで温泉の家族風呂のような豪華な岩風呂がある。

そこで、女優がおさだまりの入浴シーンが撮影されることになった。

まずこの作品は原爆症の傷あとをもって、結婚できない悲しい人生を送るひとりの女性の男性遍歴、やがて失望の中から緑のおばさんになり交通地獄の学童達を守りぬく新しい人生にスタートを切る…という物語。

武田監督は製作、企画、脚本、監督までやるほか主題歌「舗道の女」の作曲までやってのけるという多彩ぶり。さしあたり〃成人映画のチャップリン〃というところか。「好色あんま日記」「夜の手配師」「禁じられた肌」「狙われた女たち」「女高生地帯」とこれまで五本の作品を手がけ、OPチエーンではヒットを飛ばしているという売れっ子監督なそうだ。

助監督氏が監督を呼んできたら、当の武田監督は腰にバスタオルを巻いて、お湯から上ったスタイルで

「どうもこんな格好で済みません。撮影中なもんですから……」といいながら、ピチピチハキハキした口調でまくし立てる。

「とにかく手を抜かないで撮るしかないですよ。狙ったテーマはゴマ化さないで懸命に

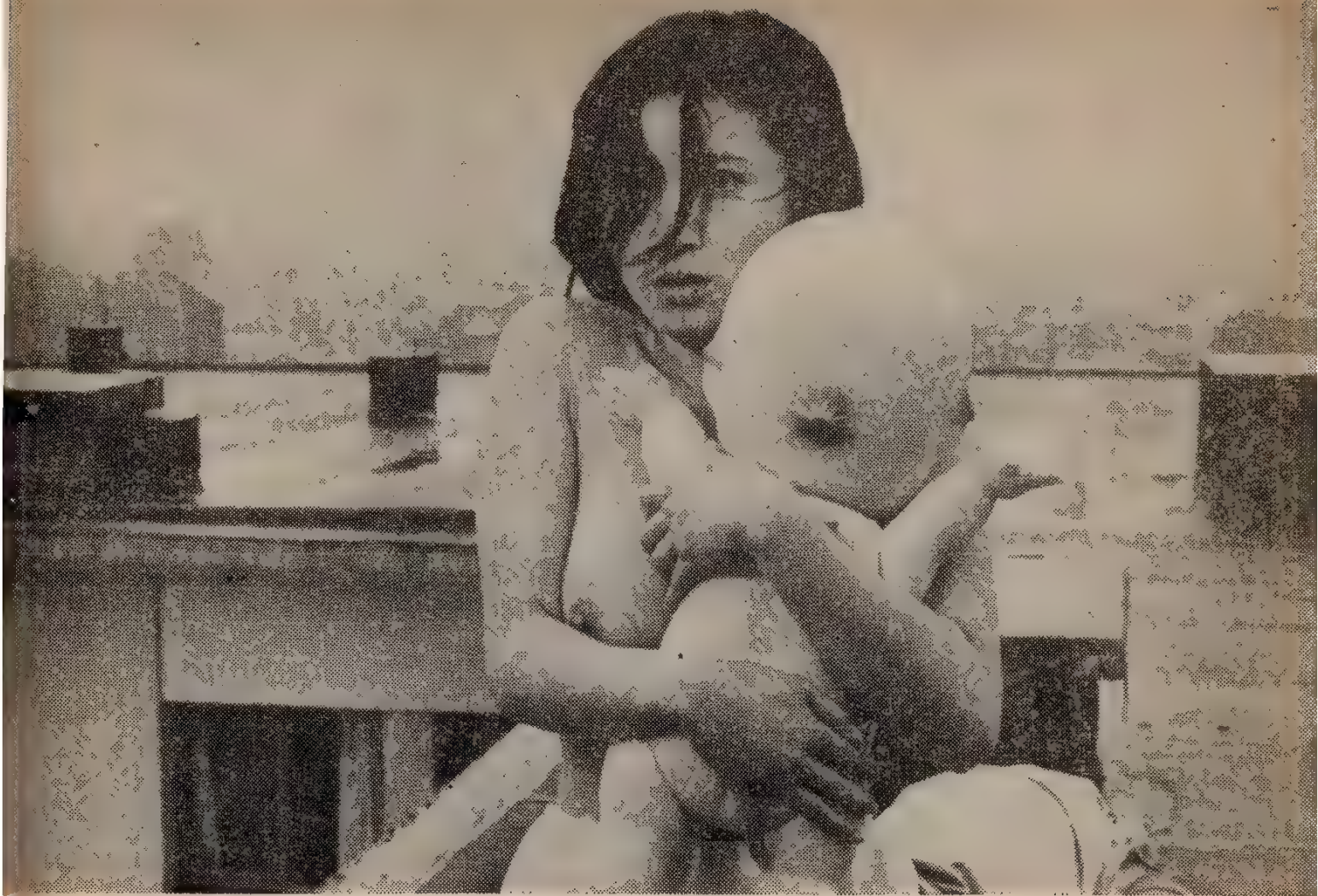
赤いハデなタオルを腰に巻いて、お湯を浴びながら、汗をあたりに散らせながら、演出するあたりとても他の監督にはみられない意気込みとハッスルぶりだ。美鈴という女優はとても魅力的とは思えない感じだが、映画のテーマにはピタリだという。

全裸で相手ともみ合い、とうとう細谷を押し倒しおかげで、彼は胸を岩かどにぶっけて、すりむきケガをするということに相成った。とにかく意気盛んなフンイキが撮影現場にただよっていた。

「今日的なテーマを追及し、カベを突きやぶるには五社に乗りこむしかありません」と意気込む武田ハッスル監督であった。

「新・妾」(国映)

国映が「情事の履歴書」の続編を作って、予想外にヒットしたところから、こんどはやはり「続・妾」の二作につぃで三作目の「新・妾」(監督中野弘也)を映画化した。決して最良の企画とはいえないが、安定度からいえば一番ブナンということになるのだろう。題名にさえきびしい規定を設けている映倫の意向にそえば当然、「妾」のタイトルはつけられないところだが、前作のキャリヤにものいわせて、こんどの題名はOKになった。しかし新のあとに作る場合「新・新・妾」も前例にものいわせてまたも通用することになるかも知れない。

ところで、こんどの作品は監督が中野弘也で、新しい妾、つまり二号役は続情事の履歴書に出演した北御門杏子。続に出たり、新に出たりで、まさに続新女優。ところが、国映が大きな期待をよせ

ているのとはウラハラにご本人は「あたしね、父からもう女優やめて、花嫁修業しなさいといわれたの。当分映画のお仕事止めようと思うのよ」といっていた矢さきだった。

つまり、娘がハダカになって映画に出て、週刊誌なんぞにそれらのセクシー場面がのっているので、サラリーマンの父親は対外的にあわてたり、さらに娘の将来のために考えざるを得ないというのが理由なそう。

そんな中で、またも主演に踏み切ったのだから「ドッタノ?」ということになる。

さて、前おきはこれくらいにして、「新・妾」のロケルポに移ろう。この映画、二号(北御門)が、ダンナ近藤敏明の遺産相続目あてにダンナの子供を生もうとする。そこで闇の人工受精するのだが、その精子が病院のインターン(千葉隆)のもの。妊娠したあとで、彼女はなんとかして人工の父親のカオを一目見たいと願い、インターンと会い、本物の接し方で深い関係になる。

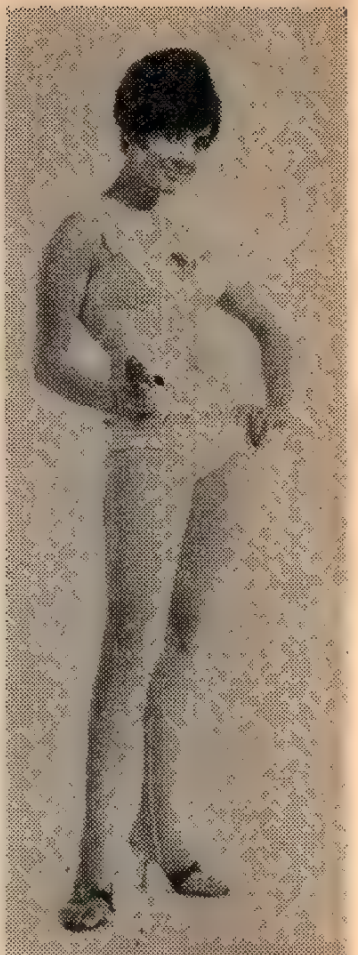
インターンは女にダンナのいることを知って別れ、そのころダンナが病院で死ぬが、結局は遺産ももらえず、借金を背負い、住んでいたマンションまで追われて丸ハダカ、そのショックで気狂いになりビルから、投身自殺してしまう、まことに暗い話である。この話の中から人間の金欲、性欲、そして純粋であった女のはかなさ悲しさを描こうというのがテーマで、あるらしい。

ネオリアルズムドキュメンタリイ監督の中野監督はこの作品でもベッドシーンやら、北御門が人工授精をうけるシーンをリアルにとらえて迫力を盛ったそうだが、北御門のリッパな根性ぶりを一つ紹介すると……。彼女は気狂いになって、ビルの七階の屋上か

ら飛び降りるシーンを都内のあるマンションで撮影した。
　彼女はブルマーの大きな袋のようなパンティ一枚に、大きな人形を抱いて飛び降りることになった。このビルの屋上には柵がない。その先端を歩いて行くのだが、下を見おろすと、大の男でもブルブル足もとがふるえてしまう。
　彼女は平気なカオで、その端を歩き回ったのにはスタッフも「なんて度胸のいい子だろう」と感心したりビックリしたり。この飛び降りる寸前のシーンを十分がかりで撮って〝カット〟という監督の声がかかったトタン、彼女はフラフラとスタッフのカメラの方に歩いてきて、バッタリ倒れて、気絶してしまった。彼女とてこわさはやはりこわいだが仕事である。気を張りつめて、演技し、やっと終ったトタン、ガックリきたというわけだ。「それにしても気の強い子だよ」とひとしきり、その根性ぶりに舌をまいたそうだ。彼女の父よ。もうしばらく女優をやらせてはどんなもんだろう。モノになりそうな気がするのである。

懸賞「セクシー女優クイズ」この女優は誰！

まストッキングを脱ぎ、やがて、ベッドにごろんとひつくりかえる寸前です。チラリとのぞく豊満なバスト。まと

まつた肢態の美しさはなかなかのものです。さて、なんという女優さんでしょうか。

007に選ばれた浜美枝

〃007〃に踊らされて

「007は二度死ぬ」のジェムス・ボンドの相手役に日本女性が候補にあげられた。そこで、邦画五社はもちろんのことピンク系の女優もつぎつぎとひっぱり出された。なかでも内田高子、扇町京子、北御門杏子が、水着スタィルとか、写真を提供させられた。結局、本命は東宝の浜美枝と若林映子。それも若林の方が脇役で、浜はあとで主役。

秘密主義で、日本側を小バカにした態度。「英語ノ勉強ヲシテオイテ下サイ」といわれた内田なんかは完全にその気にさせられた組。

宣伝部長がバー開店

国映の田坂宣伝部長が七月から東京・三原小路に、バー「ファニー」を開店。一宣伝部長が経営するのは異色。ピンク映画女優をつねに数名、アルバイト出演？ のホステスにするそうだが美人がお相手して安い値段で……というのがモットーなそう。さて映画の宣伝のうまさほどに、自分のバーをうまく宣伝し、商売繁昌といくかどうか、お手並み拝見というところ。デンワが（五七一）一三七一で、コナイトイミナイなそう。

ピンク女優とお茶を！

「テアトル三原橋」ではテアトル二十周年記念としてピンク女優人気投票を行った。内田高子、城山路子、松井康子、香取環、左京未知子、橘桂子志摩みはる、美矢かほる、新高恵子の九名。中間発表はトップが内田高子で城山路子、新高恵子、松井康子と続いている。当選者一名と一位の女優さんとテイタイムを楽しむことになっているが、二人きりではなく三原橋の支配人が同行する（付き添いは邪魔じゃないですかね）

一室の中だけの異色映画

若松プロで「**胎児が密猟するとき**」を若松孝二監督で撮影中。アパートの一室だけの撮影で、女に対してマザーコンプレックスを抱いている男が、女を自分のものにするため、いろいろと飼育する話。現代の野郎族が、女の尻に敷かれている状況を風刺しようというもの。主演が志摩みはる、山谷初男。映像面で斬新なものを狙っている。

モテル勝新太郎

小川真由美といえば、このところ本業の新劇女優より、映画女優の方が本職といった感じ。大映「兵隊やくざ」に長じゅばん姿もあでやかな売春婦に扮して、女好きの勝新太郎を後ろから羽ガイ責メ。ゼンゼンうれしいカオをしているのが勝新で「もっと強く、腕ばかりじゃなく、脚もからんで責めたてていいぞ」

抱きつかれてデレデレの勝新と小川

☆ 誌上リバイバルセクシー劇場

リカナイズされて、日本の女性が消えた中で、ヨシムラは実に日本のおんなのムードがアル」と絶讃した。「鬼婆」「恐山の女」よりさきにセクシーな野

のドライな農村の娘であつた。現代の娘のセックス観を強く、そして痛く観客の胸をえぐつた。

国電川崎駅から3分、南町と六郷寄りの堀之内が「手っとり早くていい」と常連も多い。飲み屋、バー二百数十軒セット三百円（ビール小ビンにセンベイ）女の数は四百人もいる。とにかくワンセット注文して坐っていると「お二階に行く？　それとも外出する？」ときいてくる。お二階だと時間で一枚（一時間半）「アカシ」だと（四時間）三枚。「泊り」で五千円。外出となると旅館代が千円以上。「私のアパートでどう？」となるとフトン代千円はとられるからチヤッカリしている。「オフロに行ってひとフロ浴びてらっしゃい」と女が手拭とセッケンをくれる。銭湯に行ってさっぱりするのもよきもの。お二階はまずソファベッドでOK。もっと楽しみたい向きには片一方のオッパイを自由にしてあげていいわ、五百円割り増しよ」とくる。両方だと千円。片手落ちにならないよう両方の方が楽しい。

★

東北は仙台。杜の都は特急で五時間。みちのくのデラックス都市だけに楽しみも多い「手っ取り早いのは駅裏…」といわれ、青森に向って右側一帯、細横丁、東八番丁、元寺小路と細長い道が戦線。線路をまたぐX状の陸橋があって通称X橋だが「あれはSEX橋だ」ともいう。このX橋でおばさんが声をかけてくれ案内してくれる。千円ポッキリでさまざま。正味25分。推定三百人といわれなかなかの人気。泊りだと旅館代別で三千円が相場。私たちは趣味なのよという人妻二十人もいる美人で技巧派。五時には帰ってしまう。後家さんは「ダイヤ崩し」（汽車におくれるくらいのテクニック）で知られ駅正面からタクシーに乗って〃案内してくれ〃といえば、連れて行ってくれる。

★

大阪はいまや見事な復活ぶりだ。「安心して遊ぶいうなら旧三大遊廓でっしゃろな。昔の赤線とまったく同じや」とタクシーの運ちゃん。アルバイト料亭、座ブトン売春でそれらしい構えで女が待っている。セット制が多く、ワンセット千二百円ビール一本、ツマミ付き。おばさんのチップ百円。一時間で合計二千五百円。午後十一時をすぎると女も自由になって泊りは四千円が相場。ホテル代はお客持ち。尼崎神崎（百軒女千人）や初島（二百軒女千六百人）は「千二百円出せば、デンとリッパな布団が敷いてある」とくる。大阪でもフトンを敷き「フトンを敷いてありまっせ」が新しい客ひきの呼び声になった。神戸の福島新地となると「女の子が一緒にフロに入ってくれて全身洗い、それで泊りで三千五百円。天国ですよ」なそう。

セクシー女優
えり足の美学

▲[illegible]のエリ足の魅[illegible]。よろめきのうなじ—といって、うしろからみると、思わずキスマークをつけたくなるそうだ。

女の美しさは全体のプロポーションによってきまる、目鼻立ちの美しさ、みどりの黒髪、バスト、ヒップの豊満さがセクシーであっても、首の太い女性だとまずガックりである。ほっそりとしたえり足、その〃うなじ〃の黒髪の生えぎわ、いく分細いくらいの襟足の美しさは、たとえようのないセクシーさ、優しさを表現するものだ。それにひきかえ太い首、[illegible]が肩から首の辺にまで影響している女はいかにも暑くるしい。

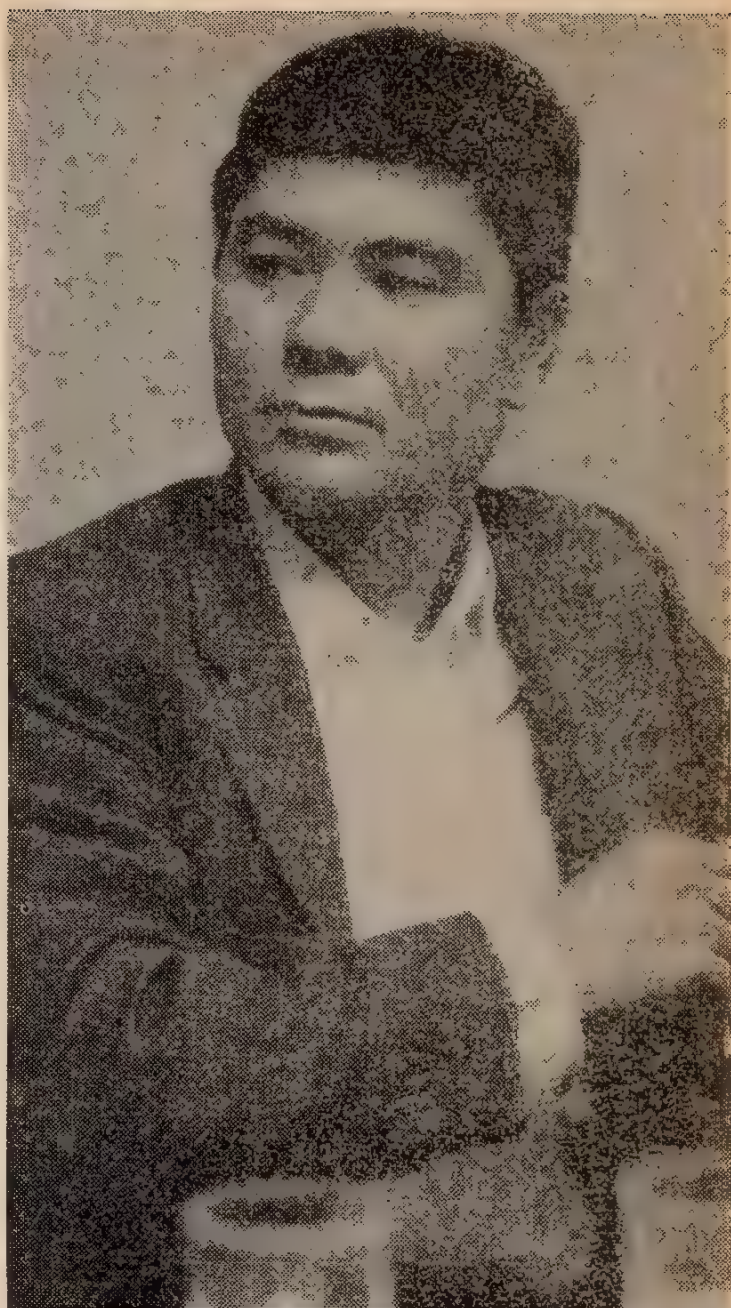
女性をそばに寝かせて、男性が、そのほっそりとした美しく白く、なめらかな女の首を抱いたとき……それは男心を完全にとろかしてしまう絶大な魅力があるものだ。

画家の林武が描くところの女、モジリアニが描く女はいずれもその首、襟足が極端に長く細い。女の美しさ、性的魅力、優しさを如実に表現しているといえる。女はエリ足

▲内田高子。ピンク系トップクラスの肉体に釣りあわせて、やはりエリ足は美しい、[illegible]

▲[illegible]松井康子 そのボリューム豊かさ、この首・[illegible]欠点をカバーしている

が長く、細くあるべきだという一つのサンプルなのである。〃女の襟足〃は一つの芸術品として鑑賞できるほどの素材があるのだ。その点、映画の場合はどうだろう。これまでスクリーンに描かれた女の襟足でこれは〃美しい〃と思えたのにはあまりお目にかかれない、それは監督の勉強不足なのである。エリ足の生えぎわ、白くなめらかな線をもっともっと表現するべきである。そこでピンク系女優から

▲珍らしくエリ足が美しい大島こずえ。ほっそりしたエリ足が、男心をそそるようだ。

★懸命に生きてきたそのひとの過去は尊い人生の土壌になっているものです。なにを目標に、なにをやりたいのか、過去と現在と将来をザックバランに告白してもらう連載対談を今月からつづけて行きます。

川島 まず少年時代のことからききたいわ。なんでも農業学校に学んだそうだけど。

若松 ええ、うちの親父は農業と獣医をやってましてね。ボクを獣医にしようと思ってたんですね。高校は二番の成績でしたがね。農業学校ではヤギの人工授精を実習させられたりしましたよ。そのころから性本能に興味を持ったわけで……。

川島 やはり素質があったんですね。動物から人間の性本能に移行して、映画で表現したってわけ？

若松 そのころからやっぱりそういう素質があったんじゃないのかなあ。

川島 どういうわけで東京に出てきたの？

若松 学校でチンピラ十人と大ゲンカしてね。それで退学させられ、田舎にもいられなくて、オフクロのお金二千円ほどかっぱらって上京したわけです。そのときはカバン一つに学生服、ゲタをはいてきたんですよ。

川島 東京にでてきてなにをしようと思ったのですか。

若松 アルバイトしながら大学だけは出ようと思ったけどそれが実現しなかった。とにかくその日、その日を食べてゆくのが精一ぱいだったから

山谷にいて、いろんなことをやったね。新聞配達、菓子やの小僧、パン屋の小僧、新聞の拡張員、ニコヨンみたいなこともやったし、苦労したなあー。センタク屋の小僧では一日中水の中に入って、ジュウタン洗いをやらされたもんですよ。

川島　若ちゃんが菓子職人となれば、お菓子も芸術的に作るんじゃないかしら？

若松　お菓子屋ってのは古いですからね。朝三時に起こされてアンコねりをやるんだけど、職人に大きなヒラでなぐられたね。大福作って配達して、つぎの日の仕込と、夜八時まで働かされたりしてねえ。

川島　いまでも作ろうと思えば作るんでしょ。

若松　和菓子、洋菓子なんでも作りますよお菓子屋は二年で職人になったけど、そこの職人と大ゲンカして止めたんですよ。

川島　どこでもケンカしては飛び出してるのね。その後はどうしたの？

若松　ブラブラしてましたが新宿の芸能人クラブに入り、そこでイザコザがあって二カ月ほど拘置所に入れられたことがあるんです。その後、旅回りの劇団のプロデューサーの下っ端みたいなことをやり日活のあるプロデューサに拾われてテレビ映画の進行をやった。ボクがそのころ〃そば〃で自からの職業をハッキりさせたことがあるんですよ。

助監督の昼食であるそばをもっていったら「こんなの食えるか！」とそのそばをぶっかけられましてね。怒ったね。

川島　怒るのが男でしょ。

若松　畜生！　その助監督をきっと見返してやるぞと決心したもんですよ。

川島　その口火を切った人のおかげで今日の若松孝二ありってわけでしょ。いまにして思えば逆に感謝してもいいじゃない。

若松　まあ発奮させたのだからね。セカンド二年、三年目で監督をやった。人に負けるのがきらいでね。とにかく苦労しましたよ。

川島　そこでなんで監督なんかになったの？

若松　なによりも手職をもたねばダメになる。そこでもともとお菓子屋でつぶれたくないという気持はあった。そこで映画の仕事に入ったわけだけど、いろいろと腹の立つこと、いいたいことがある。それを書くか映像にするかというわけで、小説家か、映画監督、テレビのデレクターになろうと思ったわけですよ。しかしボクには書く力がなかったし、演出力もなかった。しかしお金の計算なんかがうまかったので、映画のプロデューサーを夢見たんですよ。やっといま監督になり、好きなことをいいたいことをフイルムで語りかけていますが、やはり、これは男らしいいい商売だと思ってますよ。

川島　いまの独立プロの若手の中では一番いいたいことい ってるんじゃないですか。それに商売もうまいし、若松プロ作ってやってるんですもの

若松　このごろの人は口ではうまいこと、えらそうなことばかりいってるけど、さっぱりなんだな。とにかく一つでつかくやってみろといいたいですよ。

本誌・川島のぶ子

■バックナンバーをご希望の方は今がチャススです。お早めにお申込み下さい！

★お申し込みは左記のとおりです。

東京都中央区銀座東六の四　村木ビル五階　現代工房「成人映画」編集部　定価は一部各百円、送料一部十五円。

★創刊七月号　セクシー女優勤務評定、女優内田高子アーシュラ・アンドレスのヌードフォート、カラーピンアップ緑魔子ほか。

☆八・九月合併号　特集「悦楽」のすべて、加賀まりこプロフィール集、セクシー女優乳房の美学、女優野川由美子カラーピンアップ可能かづ子。

★十月号　女優新高恵子のセクシーポーズ、諸作家のピンク映画観を斬る、ボクのシネ散歩やなせたかし、カラー・ピンアップ桂奈美

★十一・十二月合併号　女優監督扇町京子、ピンク・ロケ見損うの記野末陳平、カラーピンアップ内田高子

☆新年号　65年ピンクリボン賞は誰の手に座談会、ピンク映画みたまま佐藤重臣、女優谷口朱里、カラーピンアップ路加奈子。

★二月号　成人映画ロケルポルタージュ、ヒップの美学、ピンク女優が寝るときアンケート特集、ピンアップ志摩みはる。

★三月号　ミスター陳のピンク女優寸描、ズバリ発言マンガ上田一平、くちびるの美学、素顔の女優たち川島信子、ピンアップ新高恵子、女優佐川啓子。

★No・8号ロケルポ「続情事の履歴書」、女優北御門杏子、ピンアップ泉ゆり、表紙新高恵子のアミタイツ、内田高子の休日、クローズアップ香取環。

★No・9号表紙北御門杏子、ピンアップ加山恵子、女優志摩みはる、

ゴージャス娘

4

上田一平

いいわね あんたは ボディガードなんだから 役目を忘れんじゃないよ

わかってますよ

1

あたしはここで見張ってますよ

2

ヒャー

3

もういいから あれたも泳いで らっしゃいよ

4

せっかくおれの腕をみせてやろうと思っていたのにこう天下泰平じゃ

スーヤスヤ

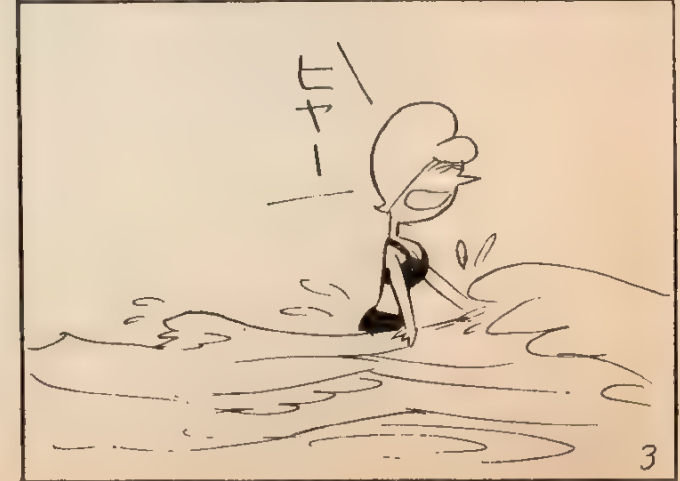
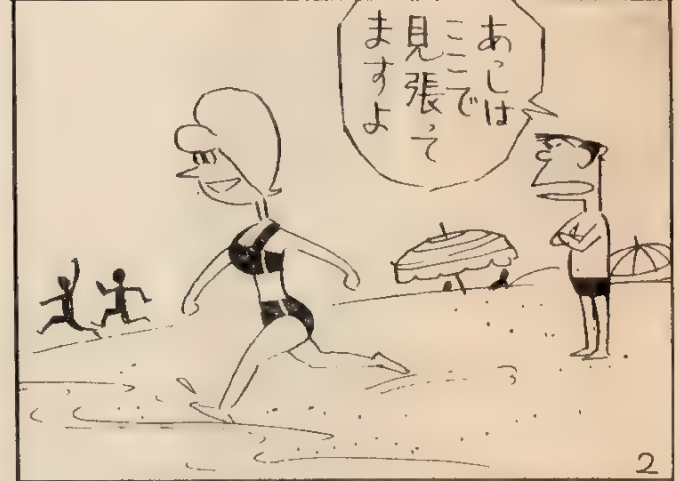
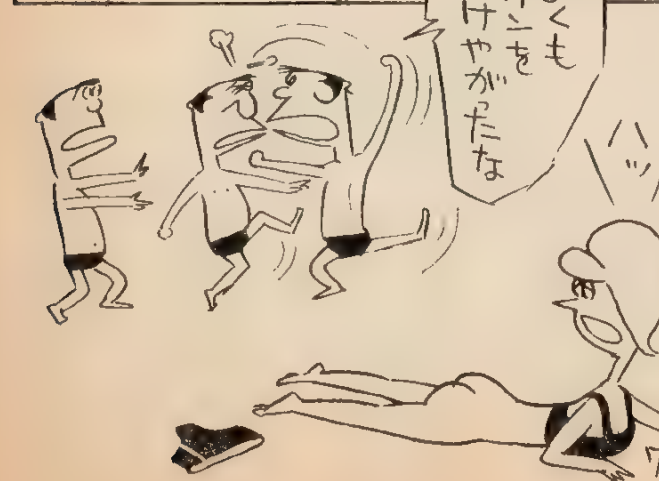
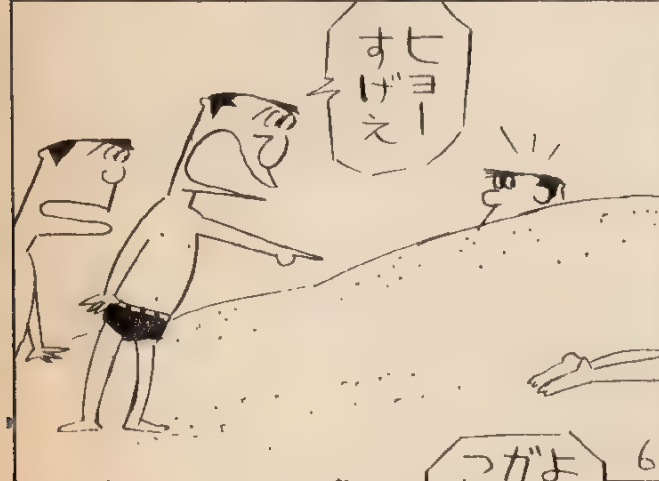
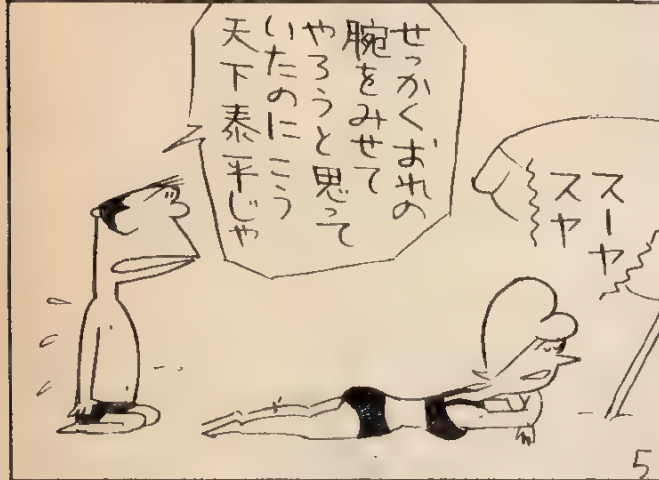
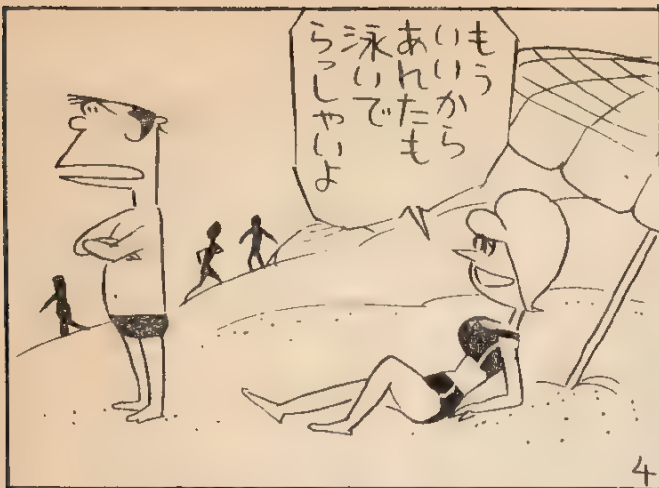
5

ヒョー すげえ

6

よくもガンをつけやがったな

ハッ

7

ピンク映画 みたまま

佐藤重臣

躍進いちじるしい若松プロから、きょうは傑作が二本登場します。

ひとつは若松孝二が自から監督した「**引き裂かれた情事**」で、主人公のルンペンがキリストそっくりの鬚をはやして登場するのが、何んともオカシイ。このキリストは実は不能で、そこにころがり込んで来た女脱獄囚に、一晩、暖かいもてなしをしてやる。女脱獄囚は何んにもお礼するものがないから——といって生れたままの姿になりキリスト様に身を捧げる。ところがこの不能のキリスト様、彼女の上で懸命になれど、あちらの方はいうことを利かず、「どうしてダメなんだロ」とくやし涙に暮れる。

やがて、一夜明けてこの女脱獄囚は昔、裏切った恋人のところに手投げ弾を持って復讐してくる。追われた彼女はまた、この堀田小屋にもどって来て、このキリスト様とベットシーンを演ずるのだが、不能だったキリスト様はこの時、忽然とおたち遊ばして「立った立った!」と狂気する。

現代の不能状況を風刺しているわけで、このベットシーン十一分間、ハレルヤコーラスが延々と入る。大向うを狙ったキザったらしいところがなんともいい。

若松プロでは新人大和屋竺監督を起用した「**裏切りの季節**」が、谷口朱里を宙吊りにし、エスカレーションと称して拷問を加えるところがすごい。身体中を縄でさいなまれた彼女が、この物すごいザディズムを身体に受け入れて逆にだんだんマゾの法悦にひたってゆくところが見どころだ

「裏切りの季節」でリンチをうける谷口朱里

「引き裂かれた情事」での加山恵子

▶「裏切りの季節」での谷口朱里

小生もアブノーマルな殺し屋として特別に出演していますから、こちらの方もトクとごらんのほどを——。

あと、ピンクものはルポ・ドキュメント風のものが多く「**つれこみ**」は、温泉マークを出入りするお客サンたちを隠しカメラに撮ったりして、いろいろ工夫して撮っているが、作りものであることがはじめからわかっているのだから、下手にドキュメントぶらない方がよかったのではないか。

ひとつ面白かったのに旅館の山だしの女中が廊下からセックスの最中の物すごい声を聞いて、一一〇番にかけるところには大いに笑わせられた。私の知っている週刊紙の記者がある時、大学の先生と旅館にカンヅメになった時、隣室から物すごい声が聞えて来た時、やハリこの大学の先生が〃パトカーを呼びましょうか〃といったそうだから、イヤハヤこの世にはいろいろぶったまげる人種がいるもんだ。同じドキュメント「**痴漢**」も、警視庁の統計などを出して凝っているが、その手順があまりに単調で、途中に何回もアクビが出て仕方がありませんでした。総じて若松プロの作品を除いて、あまりに論ずる作品がないのは残念なことです。

★「白昼の通り魔」の主役に抜てきされたが、大島渚監督にいわせると〃天才的新人〃なそうだ。

☆この映画で、ヒロインのシノの役を探すため、大島は数百名の候補者に会い、やっと二カ月がかりで、彼女を起用した。「野性的で、新鮮で、逞ましさがあり、しかもセクシーである」という条件である。果してそんな女性がいるだろうか。あれもダメ、これもダメ、結局、かのセクシー映画で勇名をはせた武智鉄二監督の娘である彼女に白矢の矢をたてた。会ってみると、「ふとしたときに年をとった感じが出る」ということで、彼女に決めたのだった。

☆若さの中に生活感といったものや、おんなを感じさせる魅力が大島の心をとらえたのだろう。父が武智で母が舞踊家の川口秀子、芸能一家だけあって、いざ使ってみるとセリフ演技、根性はピカ一だという、そんなところから大島が「シノのイメージはピタリで天才的新人だという」評価が下されたわけだ。

★豊かなボリューム。いささか肥り気味だがそれがまた農村の娘のスタイルにピタリである。美しい瞳が最大のポイントで、清純さがある。汚れを知らぬ純粋さがその目に表現され、キュンと締まった唇の部分品は、山本富士子の顔の美しさから、彼女の場合は〃現代〃を示している。

★まず申分のない魅力を抱いた女性だろう。ロケ撮影ではストレートな脱ぎっぷりも、父の血筋をひいてか、あっぱれなもの、佐藤慶に失神中に犯されるシーンで、いきなりブラウスをはぎとられ乳首丸出しになっても、見事な割り切りぶりをみせたそう。そしてその胸の白さには目を奪われたという。この一作で映画女優の座を確保する期待が大きい。女子大生で、21才。

プロダクション・ニュース

内田高子

★

国映が台湾の国光影業股份有限公司と日台合作映画「雨の中の愛情」を映画化することになった。製作費は双方一万ドルづつ出し合って、台湾ロケと日本ロケで七月中旬クランク・イン。監督が向井寛。出演は最近やはり日台合作の「カミカゼ野郎・真昼の決闘」（監督深作欣二）に出演した白蘭。日本側は内田高子、新高恵子、北御門杏子、野上正義、千葉隆、高橋憲らがマークされている。メロドラマアクションだが、台湾の女優は一切キス・シーンやベッド・シーン、ハダカシーンをやらないそうだ。国映ではセクシーファン向きに、日本版を別に作るといっている。

★

OP会盛会　OP系チェーンが発足して、早いもので一年目。そこで7月8日　6時半からホテル・ニューオータニにOP系の館主、支配人、さらにOP系の製作配給の独立プロ代表者、新聞通信のマスコミ関係者、OP系監督、プロデューサー、ピンク映画女優が集ってOP会懇談会が開かれた。

内田高子がお得意の歌を披露、可能かず子、美矢かほる、扇町京子、谷口朱里、新高恵子らが出演して盛会だった。

本誌から川島のぶ子編集長も招待出席した。

★

葵映画一般から題名募集

松竹ではひところ映画のタイトルバンク（題名銀行）を行なったことがあるが、葵映画でも作品の題名を一般から募集している。その題名からストーリーを考えるのだそうだが、最近は映倫が**女**も**夜**も**情事**もいかんというので、つけられる題名がなくなったからよほどの題名でないとOKにならないことになる。当選採用の第一位には三千円を贈呈するそうだ。

★

六邦映画配給、青年芸術映画協会作品「肌香の熱風」（監督新藤孝衛、出演絵麻アキ、香取環）は八月にO・Pチェーンで公開。

★

国映では青年群像製作「新・妾」（監督中野弘也、主演北御門杏子）を七月十三日に封切る。七月十日ころ銀座ガスホールで試写を行う予定。

六月二十日にクランクした東芸プロ製作「噂」は監督向井寛で三話のオムニバス形式。主演は志摩みはる、火鳥こずえ、野上正義。七月七日完成した。

★

池袋名画座で六月二十八日から七月四日までピンク女優ショーを行った。出演者は水城リカ、泉ゆり、森康子。

アンダーグラウンド・シネマに見る

異常性愛

佐藤重臣

「この西瓜やろう」（ロバート・ネルソン作16ミリカラー33分）主役はスイカで、スイカがひとりで転り出して、人間追をいかけ、女性の寝室に入りこむ。笑いとバイタリティあふれるハプニング

☆実験的ブルーフイルム

アンダーグラウンド・シネマがこんど始めて日本で公開されますが、こんど上映される作品は検閲の関係上、あまりカットされないようなものを選んで来たわけですが、アメリカにおけるアンダーグランド・シネマは、「無常性愛映画」の代名詞のように物すごい場面が次々と登場してくるようです。

ジャン・ジョネという有名な小説家が作った「**愛の唄**」というのは、黒人同士の同性愛の映画で豚箱のなかでタバコの煙りを分ちあって愛情を表現するところなどは、なかなかにいいそうですが、黒人がペニスをブラブラさせて濶歩するようなところがあって、この映画を上映した映画館は閉館されたというほどのものなのです。

つまり〃アンダ・グラウンド〃とは、地下のものを意味するように〃隠れた〃いはばブルー・フィルムに近い実験性をもった映画なのです。これに大会社が作った映画のように、スタアもいません。しかし、会社の制約のないところで表現の自由を確保しようという物すごい意欲にもえた作品がかなりあるのです。

従って、セックスの場面もペニスが堂々と出て来たり隠毛が見えるなどというのは当り前——、男だって女だってペニスや陰毛があるのはなにも恥じることはないので、それをフィルムの前面に押し出すことを彼らは、むしろ誇りとしているのです。

私の見た「スコピオライジング」というのは同性愛の乱交パーティを描いたもので、僅か十五分の映画ですが、こんな素晴らしいフィルムを見たことはないといっていいほどです。乱交パーティは堀立小屋の中でおなじにズボンをぬがし合ったり、下腹部に糞

「アメリカ、アメリカ」（金沢健二作品、16ミリカラー12分）自己回転するリズム。アメリカのリズムによつてアメリカを切断し、現代全体をのぞき見る。その脱出の機会と代価を問う。

尿をかけたり、ドクロ人形にペニスをコイスして射精したり下半身まるハダカのまま、オートバイにまたがったり、とそれはそれは魅惑の極地のような映画なのです。彼ら黒色者たちは、この世に容れられない呪われたもの同志のまつりとして、この乱交パーティを行なっているわけで、この儀式のあと彼らに、いなせな皮ジャンパーの姿でオートバイにまたがり出発します。

これは男色者特有の思想とでもいうべきで「死へ向ってまっしぐら」に突き進むことが彼らのたまらないエクスタシーのようです映画はカットバックでコーロン・ブランドの乱暴者のシーンとかジェームス・ディーン、アラビアのロレンスといったフィルムとカットバックで見せてゆくのです。

ゆきつく先は「死」――。これほど彼らにとってのエクスタシーはないというものなのでしょう。

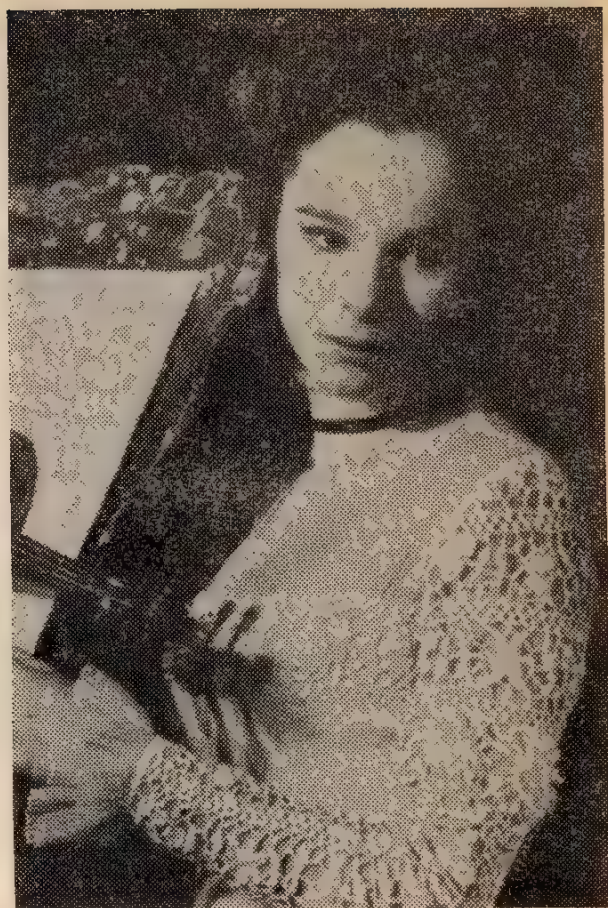
★西瓜でエクスタシーに

私のみたもう一本の作品「この西瓜やろう」は〃ウオータ・メロン〃という唄のメロディに乗って西瓜がひんぱんに出て来ます。

日本の西瓜と違ってあちらの西瓜はやや細長い。アメリカではこれを下級の人間――とくに黒人が好んで食べるので黒人の代名詞のようになっているわけで、この西瓜をだいて白人のオンナがオナーニーを演じるところがある。つまり、黒人と性交をしたいというひとつの愛の表現をここでいっているわけで、これはアメリカという国を考えると、大変。

犯罪的なことをいっていることにもなるのです。白い乳房の白人のオンナがビチャビチャになりながら西瓜をかき抱いて、エクスタシーに達するところが、何んとも、この映画のみどころで、ネグロのペニスがいかに偉大でアメリカ・オンナのスイエンの的であるかも象徴してあまりあるようです。

こんど草月会館ホールで上映された「悪魔は死んだ」を税関に見せたところ突然「あれはペニスじゃないか」と叫んだそうですが、これは男性の股倉に天狗の面があり、その天狗の鼻の代りペニスを突出させている。ところがアメちゃんのペニスというのは包茎が多く、ちよっと見たところペニスには見えない。

日本代表の傑作は飯村隆彦の「愛」。女性のシンボルをひとつも出さないで、脇毛とか他の象徴物を使って、アソコの伸縮のように見せるという不思議なフィルムで実際のアソコはワン・カットかツウ・カットしか写っていないというから、どの位、見分けがつけられるか、いまから楽しみというものです。

ジエラルデイン・チヤツプリン

● 海の向うのスターのおハナシ

ジェラルディンのヒザ上10センチ

鈴木和夫

★ある週刊誌の調査によると、東京の数寄屋橋を通る女性のうち、例のヒザ上10センチのスカートを着用していたのは、一割弱、しかも彼女たちの年齢は十五、六才がほとんどということで、「ふつうの女の子は、ヒザ上センチをあまり着たがっていない」そうだ。

★このスカートのことで面白いのは、来日したジェラルディン・チャップリンの発言である。羽田の飛行機からおり立った彼女は、たしかにヒザ上10センチだったが、その後の彼女は、ヒザ下着用のまま滞日「あのスカートは、洋服屋がまちがって、作ってしまった」と彼女はウソをついた。

★女優ともあろうものが、洋服屋のまちがって作った衣装を、まちがったと知りつつも着ているなんてことは、まずありえないであろう。また、そんなセンスでは女優として落第である。どうも、彼女は自分のイメージを日本人に、「おしとやか」と思わせたかったらしい。

★外国の映画雑誌を見てみると、なんとG・チャップリンは、ヒザ上10センチをいつも着ているらしいのである。どの写真を見ても、みんなヒザ上10センチまたは、7センチなのである。これがホントの馬脚というものであろう。

★同じヒザ上10センチ論にしてもナタリー・ウッドのものの考え方は、如何にも女優らしい。「それが流行ということなので、私も作ってみました。そのよし、あしは別として、女優は流行に敏感でなければならないからです」。わかる、わかる。「着てみると、私によく似合います。だから私は着ることにしたのです。もし、似合わなければ私はそれがどんなに高価なものでも、着なかったでしょう」ナタリーウッドのヒザ上10センチが似合うか似合わないかは知らぬ。しかし、彼女のモノの考え方は、プロの映画女優の考え方であり、立派である。

★ヒザ上10センチ論では、流産したオードリー・ヘプバーンの〃ものの見方〃が、いかにもヘプバーンらしい。「やがてまたさがるでしょう。流行とはそういうものです」ちなみに彼女のスカートはヒザ上7センチだという。ただし、そのスカートの短かさと流産とは関係がない。

★同じ映画女優でありながら、流行というものに対する見方、考え方がこうもちがうというのは面白いではないか。

念願のピンク映画に出演した佐藤重臣氏

ピンク映画出演ノート

佐藤重臣

私の夢はいちどでいいからピンク映画に出演したいということであった。

そんな念願がついにかなって、こんど若松プロの「裏切りの季節」に出演させてもらった。私の演ずる役は、死の職業・保険屋の子分としてチラリチラリと出てくるアブノーマルな男。女体には興味がなく、脱がした女性の衣服のみに興味があるという、いわゆるドレス・フェティシストの役。

まず、最高の出番は谷口朱里を宙吊りにしてこの彼女の衣服をひっぺがすところで私は登場する。ブラウスが脱がされ、スカートがとられて、それを大事そうに抱えてゆく私。これが最後には豹変したように殺し屋として、現われる。雨傘を左手にピストルを思いっ切りブッ放すところはいわゆる射精場面としてみていいだろう。

さて、この撮影中、谷口朱里さん、志麻みはるさんと友達になった。谷口さんはオッパイが小さいのを自分で気にしていたが、モデル出身だけあって均斉のとれた身体。この彼女を荒縄で縛り鞭のつぶてが次々と飛ぶ。

立川雄三の声が「それからどうした！」とドナると「戦争屋！　殺し屋」と、荒縄で十文字にゆわえつけられたその下で、仕返しの声が聞える。何んともサディズムの極地である。次いで、立川雄三が素ッ裸の彼女をかつぎあげ、浴室に運ぶ。

これはすべて渋谷にある若松プロのマンションの中で撮影が行なわれているのである。われわれはそんなサデイズムの怒号の声を聞きながら別室でひと眠り。一寸想像出来ないような撮影風景といえるだろう。

続いて宙吊りの場面が深夜このマンションの地下室で撮影されることになる。鞭やクサリ鎌など、こんなものでブンなぐられたら、いっぺんで死んでしまう小道具を用意し、ひっぺがした彼女の肉体にこの凶器が雨あられと飛ぶしかし、これには若干、トリックがあって鞭も、あたっても痛くないようになっているのだが、手元が狂って一回だけ彼女の身体に本当にあたってしまった。その時の谷口朱里さんの悲鳴は大変なものだった。

さて、もうひとりの志摩みはるさんは、この映画で黒人のギターひきとねんごろになるパンパンに扮している。私の出演場面になると、しまいにからかう始末。非常に素直なひとでこれからますますのびる人だと思った。

この若松プロのマンションには、隣りにもうひとつピンク映画のプロがあり、隣りに来たついでに寄ったのよと新高恵子、山中渓子、それに若松プロの次回作「胎児が密猟する時」に出演の西朱美などがやって来て、まさにオピンク村（オリンピック村ではない）の感じがするほどの賑やかさだった。

ああ、また機会あったら、出たいなあ！

スター訪問

谷口朱里の優雅な休日

谷口朱里といえば、近ごろグングン伸びてきたセクシー女優。体当り演技派としても定評がある。久しぶりに休みがとれ、ポッカリあいたある日の午後、彼女のアパートを訪問してみた。ではその模様を……。

★おんな一人のアパートへ

新宿四谷三丁目、小さな小路を入ると四谷保健所があり、そのすぐトナリの二階のアパートが彼女の住い。戸口のベルを押したが、返事がないので、ソーッとドアを押してみたら、ステレオからミュージックが流れ、彼女がひとりで踊っていた。相手がいないなんてモッタイない。それじゃボクが一丁……っと思ったものの、まてまて、こちらは仕事にきたのである。

「あら……ごめんなさい、気がつかなくて……」人なつっこい瞳が笑うとグッとチャーミングになる。丸首のノースリーブの純白のセーターセクシーな肩と腕のつけね、ほどよい脂肪がチラチラ。おんなひとりのアパートに野郎が訪れると、なんとも妙チクリンなキモチになる。キッスの一つぐらいしないとサマにならないんじゃないかなあ——と思ったりしたが、「いやよォ」とか「ダメダメ、お仕事でしょ」なんていうコトバが返ってくると信用落しちゃうことになりかねないから、それはやめにする。

彼女の部屋は六畳のダイニ

ングキッチン、赤いテーブル、赤いジュウタン、つぎの間にソファベッド、洋服タンス、三面鏡、ステレオ、テイプレコーダー何枚かのポートレートがガクブチに飾られ、犬のオモチャだの花だの、チンマリした書棚に文学全集が並び、まずまず女の子ひとりぐらしムード一ぱい。

「片づけてないから、汚れてんのよ。ゆっくりして行ってね」(夜は何時までいいのかな?)といいながら、彼女が冷蔵庫からコーラを出し、シュークリームのケーキをご馳走してくれた。話題はなんといっても映画界のこと。

★全裸にハッスルよ!

最近主演した「裏切りの季節」(若松プロ)で全裸になってハッスルした話に花が咲く。

「あのお仕事で、あんなに頑張ったことないのよ。あたしハダカに近いカッコウで出演したことあるけど、あんなに一糸まとわずってのははじめてなのよ」

そのシーンも全裸で縛られて、リンチされるのである。映倫でも映画のテーマに共鳴して、ほとんどカットがなかったというから、ぜひそのショッキングシーンはみなくちゃあなるめえ。

谷口朱里という女優と話をしていると、大変前向きである。全力投球できるような作品にぜひ出演したいといい、近ごろのただ裸をみせるだけの作品はゴメンだという。

映画の話をしていると、瞳がランランと輝く。とてもはじめに抱いたキッス・ムードなどふっ飛んじまう。ただ彼女が懸命に気を使い、サービスこれつとめるのだが、なにしろ一枚のカベにさえぎられる。カベという厚いものでは

リーノ、なんたる見事なグラマー、びつくりしたなあモウ……

九竜虫を育てて、それをスタミナにして精力あふれんばかりに……

ん、あくまでも商業政策上のニンニク愛用よ」ときた。

「精力剤といえば、あたしね九竜虫を飼ってんのよ」と押し入れから取り出したのが、プラスチックの箱に入った虫の一群。ヌカを敷き、パンかけらが二、三あって、そのパンに蛍かゴキブリによく似た虫がしがみついている。

★なにに効いたのかな?

九竜虫といえば、コップの水に二、三匹浮かせて、そのまま呑む。すると虫が胃の中で苦悶したとき体内から吐き出す分泌物や、液が、胃腸によくきき精力剤になるという

「のんでみた?」

「ええ、前に二匹ほどね」

「効いた」

「よさそうよ」

なにによかったのか、胃か精力かはききもらしたが、興味のあることである。

〃九竜虫とセクシー女優〃にんにくとセクシー女優〃谷口朱里はやはり現代の波をせっせと泳ぎぬく女優なのだろう。サンダルをひっかけて表通りに行き、センメン器をかかえて銭湯に行き、ショートパンツ一枚でねころがってステレオをきき、ニンニク食べて、仕事にへこたれない体を作る。

帰りぎわ「持って行く?——」というので〃九竜虫〃をおみやげに三十匹ほど空カンに入れてもらって、グッドバイした。ボクも〃九竜虫〃を繁殖させてためしてみよう。そしてニンニクも愛用してみよう。

アパートの近くは温泉マークが立ち並び、つい先だっても、知人の女性がポーッとしたカオで彼氏と腕を組んで出てくるのにバッタリ。「知っている人とときどき旅館の近くで会うのよ、エヘヘヘ」と明るい。ご本人の彼氏の方はまだできていないらしい。モッタイナイねえ。

★O・Pチェーン　7・8 月番組

期間	番組	期間	番組
6/28–7/4	欲望の異常者（大蔵映画） 色ぼけ（関東ムービー）	19–25	不純な快楽（明光セレクト） 女高生のふるえ（東京興映）
5–11	お化け大会 悪徳医（日本シネマ） 我慢出来ない（関東ムービー）	26–8/1	女のふくらみ（関東映配） 乱気流の悶え（大蔵映画）
12–18	絶品の女（大蔵映画） 情婦（日本シネマ）	2–8	生娘（日本シネマ） 女体爛熟（大蔵映画）

編集後記

★うっとうしい梅雨も、もうすぐおわりになる。そうなれば開放的な夏のシーズン 。水着のシーズン、ハダカのシーズン……といってはしかられるかも知れないが、女性の肉体の美しさを満喫できるシーズンであることに間違いはない。さて「成人映画」に登場する女優さんと街の女性方とどちらが魅力的かな？（E）

★今号はロケルポ特集にしました。若い監督が意欲的に仕事をし、その作品を自分の発言の場としているのはよいことだと思います。とかく現状に甘えて職人になり切ってしまう傾向が強い昨今、自分の個性で勝負すること、つまり自己の主体性を強力に押しひろめて前進してほしいものです。（K）

★迂余曲折の中で、とにかく10号目を迎えた。もう本誌も一年目を迎えようとしている。

発行ごとにいつも創刊号を出すような気持である。フレッシュな企画、ピンナップの女優候補の希望などどしどし寄せてほしい（X）

●「成人映画」　通巻第10号　昭和41年８月１日発行　定価100円 編集兼発行人川島のぶ子　発行所／東京都中央区銀座東6の4　村木ビル5階　現代工房 電話(541) 3798

♥今月のスクリーン・エロチシズム

あまい唇（葵映画）

監督・千葉隆志　主演・香取環

プレイボーイの画家岡田（森幸太郎）は田舎のバーで知り合ったカヨ（香取環）を引きとり理想の女性に造りあげてゆく。軽井沢を背景に愛と憎しみを描いたもの。志麻みはる谷口朱里らが共演。

監督・武田有生
主演・新高恵子

美貌の英語教師三枝（新高恵子）は不毛症のため結婚もせずにいるが、そんな三枝に高校生達は興味をもつ。セックスに興味をもち桃色遊戯にふける思春期を描いている。

女高生のふるえ（東京興映）

監督・横井　充　主演・山仲溪子

父親と二人暮しの娘（山仲溪子）は高校三年生の多感な娘だ。後妻（新高恵子）を向えようとする父親に反撥し、おじの家に下宿するが後妻になる女にことごとく反抗する。

私は見られた（東京興映）

監督・小森　白　　主演・香取　環

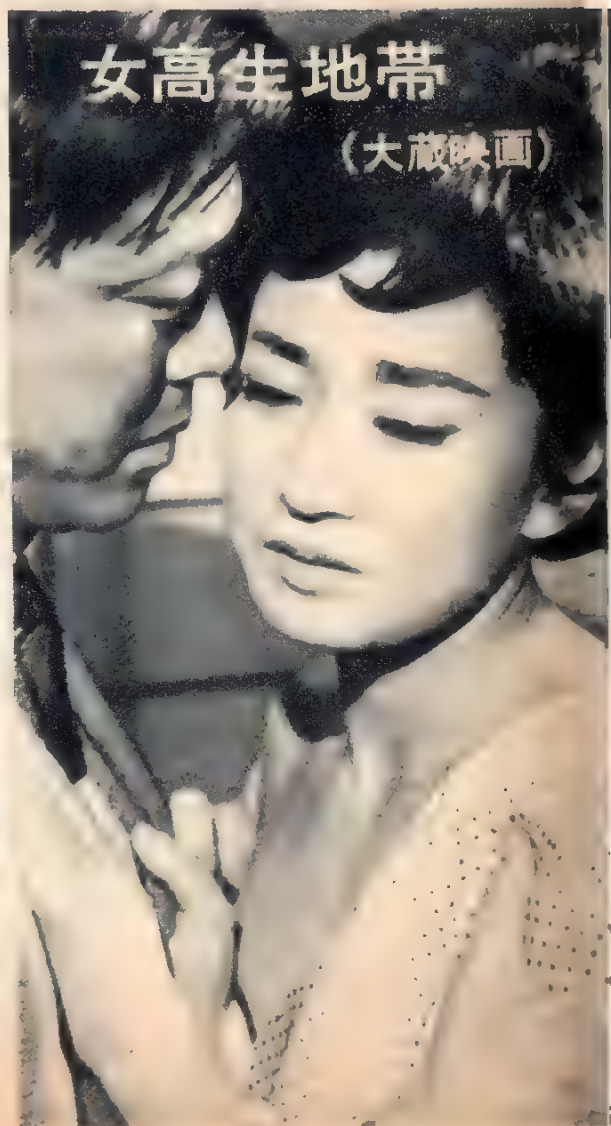
美貌の女私立探偵の由美（香取環）がある男の素行調査の依頼を受けたことから男が麻薬の密輸の一味であることを知り悪をあばくため積極的に黒い罠の中に入ってゆく。

産婦人科医日記より

悪徳医（日本シネマ）

ある産婦人科医が金の欲望から、恐るべきコール・ガール組織の手先となり、闇の堕胎手術をつづけ、遂に偽医者であることが知れる。堕胎天国ニッポンに鋭いメスを突き刺す。

女高生地帯

（大蔵映画）

肉体の会話（日本シネマ）

監督・久衆 光　主演・山仲漢子

病床に伏した妻の看護に疲れた夫坂崎（森公）がふと知り合った娘清子（山仲漢子）との間に小さな愛が芽生えてゆく。ホテルの一室でくりひろげられる肉体の会話とは……

汚辱の女（大蔵映画）

女流作家の康子（松井康子）は小説のモデルに選んだユカ（山吹ゆかり）に同情し愛人の秋元（伊海田弘）に預けるが多忙な康子から離れた秋元はユカと結婚をしてしまう。

監督・高木丈夫　主演・松井康子

色ぼけ

監督・松原次郎
主演・成瀬恵子

れたあげく体を奪われ自殺した。
に自分の肉体を武器に復讐する。

監督・湯浅浪男　主演・松井康子

追われている男（井村弘）と、夫に捨てられた年上の女（松井康子）が短かいひとときを炎のように燃やしながら、ついに掴むことのできなかった愛のむなしさを描く。

危険な戯れ（新東宝）

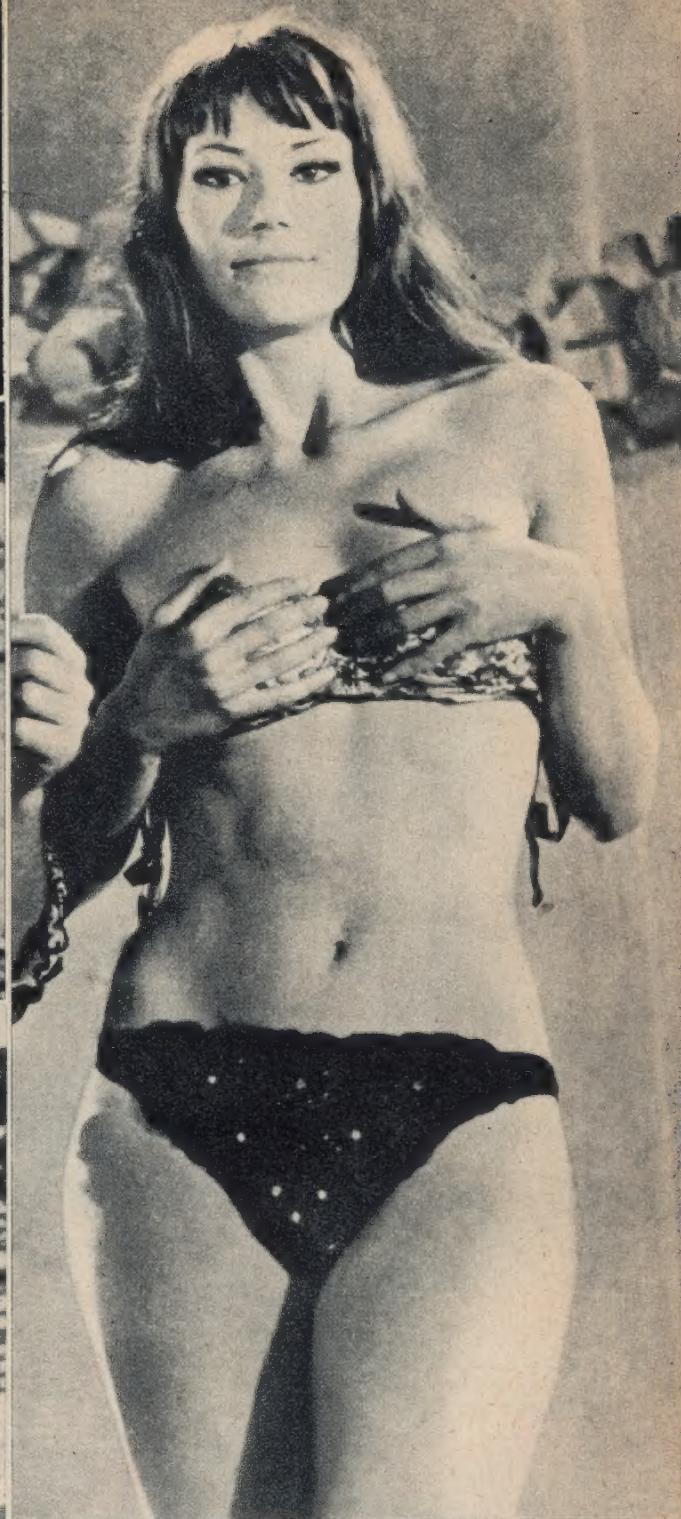
欲望の異常者（大蔵映画）

監督・小川鉄也　主演・扇町京子

戦争で性的不能者になった斎藤（九重京司）は、若い妻（扇町京子）と結婚するが、妻が性的満足がなく、昔の男友達（中村弘二）と関係、そして夫の財産を狙おうとする……。

母は悪徳金融業者に苦しめら
娘みどり（成瀬恵子）はその男

「恍惚」のグラマー

クローディーヌ・オージェ

♥「007／サンダーボール作戦」でお馴じみのクローディーヌ・オージェは、92—74—96という見事なサイズのグラマーですが、とりわけバストよりもヒップのほうが大きいという、現代的なセクシー・グラマーです。その彼女が真裸になって海に入るシーンをお目にかけるというのが、この「恍惚」という映画で、水着を脱ぎすてたすばらしいヌードの後姿——思わず〃恍惚〃としてしまいますねェ。

関東地区成人映画上映館一覧表

大阪地区成人映画上映館

大阪駅

東淀川区
- ▶十三若草劇場 (301) 5929

北　区
- ▶天六映画劇場 (351) 9138

都島区
- ▶都島会館 (951)4651

天王寺区
- ▶鶴橋松竹 (761)9752

守口市
- ▶守口セントラル (991) 0049

福島区
- ▶吉本キネマ (451) 6793

城東区
- ▶放出シネマ (961) 0664

布施市
- ▶布施映劇 (721)4990

西淀川区
- ▶野里リボン座 (471) 1 0 8 2

阿倍野筋
- ▶阿倍野名画座 (641) 5885
- ▶千日前オリオン座 (641) 5 4 7 7
- ▶千日前新オリオン座 (641) 5 4 7 7

難　波

名古屋地区成人映画上映館

- ○浄心ハイツ (531) 4118
- ○上飯田劇場 (991) 5714
- ○守山劇映 0560-(79)2082
- ○栄生グランド劇場 (551) 6 3 7 9
- ○タカラ劇場 (941) 6076
- ○堀川映画劇場 (231) 0193
- ◎今池フジ (731)4763
- ○太閤劇場 (551)2353
- ◎テアトル希望 (541) 3044
- ○曙文化劇場 (731) 3806
- ◎日活シネマ (241) 2345
- ○鶴舞劇場 (881)8494
- ◎名　画　座 (231) 3211
- ○雁道劇場 (881)8069
- ○日比野東映 (671) 0407
- ○八熊文化劇場 (321) 8194
- ◎南映画劇場 (811) 4906
- ○新郊劇場 (811)2730
- ○名港文化劇場 (661) 1269
- ○名南劇場 (811)6586

月刊「成人映画」通巻第十号　昭和41年8月1日発行　編集兼発行人　川島のぶ子　発行所／東京都中央区銀座東六の四　村木ビル五階　電話（五四一）三七九八　現代工房　定価百円